

## ■令和4年二級・木造建築士試験「設計製図試験」の課題が公表されました。

### 二級建築士試験

【課題】保育所（木造）

【学科試験日】 7月 3日（日）

【学科合格発表日】 8月23日（火）予定

【設計製図試験日】 9月11日（日）

【設計製図合格発表日】 12月 1日（木）予定

### 木造建築士試験

【課題】専用住宅（木造2階建て）

【学科試験日】 7月24日（日）

【学科合格発表日】 9月 6日（火）予定

【設計製図試験日】 10月 9日（日）

【設計製図合格発表日】 12月 1日（木）予定

詳しくは、公益財団法人建築技術教育普及センターのホームページをご確認ください。

<http://www.jaeic.or.jp/>

## ■北見市からのお知らせ

『住宅リフォーム・解体補助事業』 ※先着順ではありません。抽選を行います。

住宅の居住性や、耐久性を高める工事等や、昭和56年5月31日以前に着工した建築物等をすべて除去し、更地とする工事費用の合計額が30万円（消費税を除く）以上の場合について、20%かつ20万円を限度に予算の範囲内において補助いたします。

また、申請者が居住するための、空き住宅を改修する場合も対象となります。

【受付期間】令和4年7月11日（月）～7月20日（水） ※土日祝日は除く

【受付場所】北見市役所 3階 建設指導課窓口

詳しくは、北見市役所のホームページをご確認ください。

<https://www.city.kitami.lg.jp/administration/work/detail.php?content=9129>

## ■既存住宅状況調査技術者講習『オンライン講習』のご案内について

既存住宅の調査の担い手となる技術者の人材育成を進め、建物状況調査（インスペクション）の活用促進、売主・買主が安心して取引できる既存住宅流通市場の整備及び活性化を推進する制度であり、本制度に基づく講習を受講することで既存住宅状況調査技術者の資格を取得できます。詳しくは、日本建築士連合会ホームページをご確認ください。

<https://www.kenchikushikai.or.jp/hoshukai/kizonjyutakujiyokyochosa.html>

## ■住所、氏名、資格、勤務先等に変更があった場合は遅滞なく変更届の提出をお願いします。

（一社）北海道建築士会ホームページより届出書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、北見支部事務局（株）清和設計事務所）までご持参ください。

【届出書】[http://h-ab.com/download/association/app\\_statement01.pdf](http://h-ab.com/download/association/app_statement01.pdf)

## ■メールアドレスの登録について

一般社団法人北海道建築士会及び北見支部からの情報は支部ニュースでお伝えしておりますが、各月の支部ニュースでは情報が遅くなることもあり、メールでの配信を併用しております。メールでの配信を希望される方は、

事務局（[h.ab.kitami@gmail.com](mailto:h.ab.kitami@gmail.com)）までメールアドレスをお知らせください。

※裏面もご覧ください※

## 《会員紹介コーナー》

親 会

### 『 ～私と建築～ 』

執筆者 内田 正明 (北洋建設(株) 勤務)



子供の頃、夏休みの課題で「金閣寺」を作ってみたことがあった。家に金閣寺の写真が飾ってあり、これを真似て作ってみようと材料を揃え、せっせと竹ひごと格闘したことがあった。こだわりは屋根の反り、竹ひごを一本、一本、火で反らし、組み立て、そして完成させた。今思えば、それほど完成度の高いものではなかったが、子供心に「モノを作りあげた」なんともいえない達成感。

そんな充実した、楽しかった記憶が、今、こうして建築に携わっている私の「原点」のような気がする。現場では昔も今も変わらず苦労の連続。年月が経つごとに高齢化も進み、ましてやこのコロナ禍。若い人にはなかなか「建築」という仕事に魅力を感じてもらえないのか？若い建築の人材が育っていないのが現状だ。今は「マスク着用」の現場であっても「建物」が完成した時の喜びは、あの子供の頃、夢中になって作った「金閣寺」を完成させた時のような達成感でいっぱいになる。

私も年を重ね、なかなか楽にはならない建築の仕事だが、自分が携わった建物が長い年月、地元の北見の街に堂々と建っている姿を見ると、「コロナや年（歳）に負けてなるものか！」と日々思う。

青年部会

### 『 我が家のこだわり 』

執筆者 米津 貴明 (北見市役所 勤務)



夢のマイホームの検討を進めて約一年弱。ようやく完成し、無事引き渡されました。想像以上に施主として決めるべき内容が多く、あれこれ資料を広げて調べながらほぼ毎日家族会議を行い、家庭内の空気を悪くしながら（たまには良くしながら）打ち合わせを進めた為、現在、自室が人生最大級の汚部屋と化しております。この支部ニュースが掲載される頃には、部屋掃除と引っ越しが完了し、荷解きも一息つけていると良いのですが・・・どうでしょうか。(汗)

マイホームに対してご家族の「こだわり」を反映させる方は多いと思いますが、私達家族が一番こだわって時間をかけたのは、家具や家電選びでもなく、内外観の色でもなく、ゾーニングでした。

夫婦とはいえ生まれ育った生活環境が異なるため、空間の価値観も当然、異なります。言葉での話し合いには限界があるので、動画サイトで新築の内覧動画を閲覧し、空間のイメージを持ってもらう生活を2週間程度、タブレットで簡単に簡易的な間取りを描くことができるアプリを使用して、就寝前に間取りを描き翌日の夕食後に家族会議を行う、という生活を1.5か月程度することとなりましたが、無事、納得のいくものが完成し、安心しています。

機会があれば、皆様のご自宅の「こだわり」を聞いてみたいです。

女性部会

### 『 折り紙建築 』

執筆者 奥沢 奈恵



折り紙建築は、一枚の紙に切り線と折り線を入れて90度に開いた時、建物が立体的に飛び出すよう再現したものです。私が初めて興味を持ったのは、手書きのかわいいお家が「ボン」と飛び出てきたのを見た時です。数カ所切ったり折ったりするだけで、二次元だった建物が三次元になる感覚が楽しいと思いました。複雑になればなるほど陰影がつき奥深さが増すのも面白いです。

女性部会で北見市内の公共建物や小学校を作成しています。子供たちに建築に興味を持ってもらおうと、体験イベントもやっていました。建物を選んで好きな色を塗る。切って折って「ボン」と飛び出す。その時の笑顔がとっても可愛かったです。今年の活動で、市内の小学校が全て完成する予定です。

また、イベントができるようになったら、子供たちの笑顔をたくさん見たいです。

